

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

クレトイシ株式会社 呉工場

(2) 事業所の所在地

広島県呉市吉浦新町2丁目3番20号

(3) 業種

研削と石製造業（細分類番号：2172）

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度を基準年度とし、令和5年度から令和7年度までの3ヵ年とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和7年度 (2025)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	13,314	6,657 50.0	5,774 56.6	5,375 59.6	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	13,314	6,657 50.0	5,774 56.6	5,375 59.6	100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	令和6年度は、生産量の減少によりCO ₂ 排出量も減少し、結果的に目標を達成。ただし、生産量が回復すればCO ₂ 排出量の増加が見込まれるため、現在実施中の中長期的な削減計画に基づき対応を継続する。そのため、目標の変更は実施しない。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	焼成炉燃費の向上	31.2kl (原油換算kl/年)	焼成炉バーナーの本数削減、操炉回数の適正化、炉体からの熱漏れ対策修繕により、消費エネルギーの低減を図る。
2	工場内蛍光灯LED化	20kl (原油換算kl/年)	照明設備のLED化による、消費エネルギーの低減を図る。
3	空気調和設備（エアコン等）更新	1kl (原油換算kl/年)	空気調和設備（エアコン等）を省エネタイプに更新し、消費エネルギーの低減を図る。
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	・ 検討中	
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	廃棄物の再資源化	再資源化率84%(令和6年度) ※ 令和5年度比6%向上	・ 廃棄物の減量と再資源化 ・ 不用といし排出の削減
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。